

矢来町のたからもの

輝きに満ちた自筆資料の数々

編集委員 中島国彦

長い歴史をもつ出版社「新潮社」は佐藤義亮によって創業され、雑誌「新潮」は今日に至るまで多くの名作を生み出してきました。「矢来町」は、日本の近代文学とつながりの深い新潮社の、大正二年からの所在地です。「矢来町」の名から、誰もがこの出版社の名を思い浮かべるでしょう。新潮社を支えた佐藤家には、「新潮」に掲載され、あるいは新潮社から刊行された書物にゆかりの、多くの文学者の原稿や書類類、その他の貴重な資料が伝わっていました。その中には、これまで知られていなかった原稿類も多く含まれています。

二葉亭四迷の時代から、石川啄木・島崎藤村・有島武郎・菊池寛・谷崎潤一郎・佐藤春夫らを経て、戦後の太宰治の名作原稿や書類など、文学者の残した自筆資料の味わいを、ぜひお楽しみください。

新潮社創業者
佐藤義亮

Giryō Sato
1878-1951

生誕の地

秋田
角館



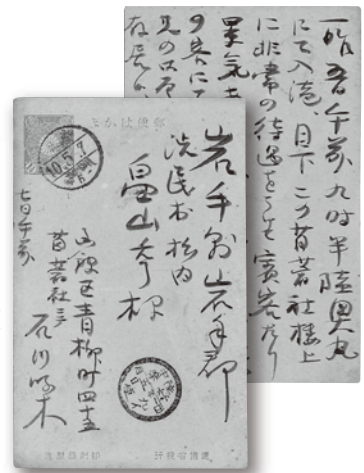
新潮社記念文学館

Shincho-sha Memorial Museum of Literature

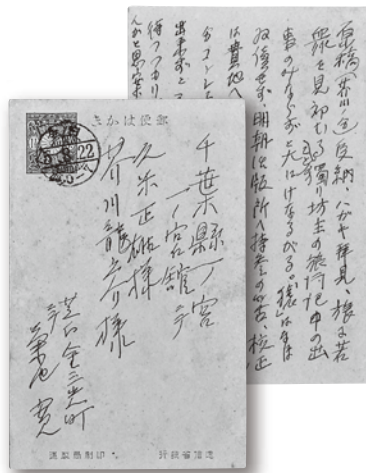
〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁23

Tel.0187-43-3333

www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/bungakukan/



石川啄木 畠山亮宛はがき
一九〇七年五月七日



菊池寛 久米正雄・芥川龍之介宛はがき
一九一六年八月二日

主な出品資料

原稿・草稿類

二葉亭四迷 「其面影」／徳富蘆花 『子見たる父トルストイ』序文／島崎藤村 「ある女の生涯」／有島武郎 「白官舎」(星座)／北原白秋 「月夜の風」／谷崎潤一郎 「續羅洞先生」／佐藤春夫 「美人」／太宰治 「斜陽」

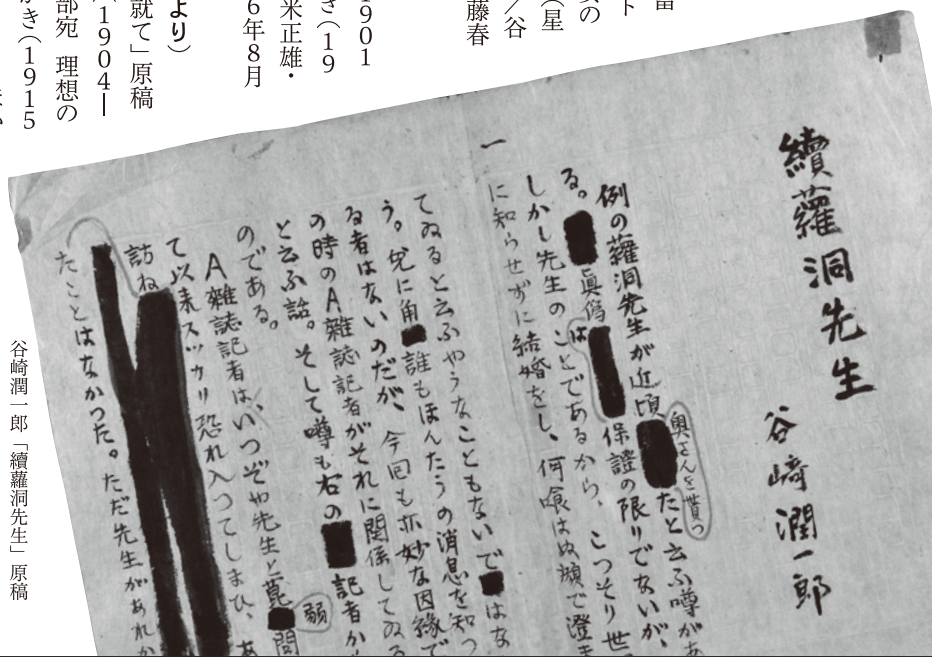
書類類

石川啄木 高橋兵庫宛書簡(1901年6月7日)・畠山亮宛はがき(1907年5月7日)／菊池寛 久米正雄・芥川龍之介宛はがき(1916年8月22日)

特別出品(夏目漱石関連資料より)

「倫敦消息」／池邊君の史論に就て」原稿／田口俊一宛自筆絵はがき(1904-1905年・6通)／「新潮」編集部宛 理想の書齋についてのアンケートはがき(1915年2月5日)

谷崎潤一郎「續羅洞先生」原稿



續羅洞先生

谷崎潤一郎